



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年7月号》

2019年7月15日

高野 文夫 NPO日本プレゼンテーション協会理事長

## ナレッジファシリテーションなる国内初の 画期的な会議術の本を一気に3冊出します。

### はじめに

わたしはこの6月に「ナレッジファシリテーション」の本を一気に3冊出します。これで私の出版本は全部で50冊を超えます。

この3冊は、ナレッジファシリテーションに関する国内初の本になります。

私はこの手法を国内に広めることで、会議改革と働き方改革に大いに貢献できるもの思い頑張ろうと思います。

### 第一章

会議の目的は、だれが・何を・いつまでにやるかを決めてお互いの肚に落とすことです。

もうじき更に革新的なIT技術の導入、簡単な単純労働はすべてロボットにやってもらう、そして今の100倍以上のスピードと容量で情報が飛び交う5Gの時代に入ります。

5Gとは今の第4世代携帯電話4Gに次ぐ次世代の移動体通信方式の事です。

今やその様な情報革命の中で、過去の延長線上には未来を思い描けない時代に入っています。そしてその様な時代の趨勢にマッチした会議の在り方が求められています。

従来からの発想の大きな転換が求められている時代にはそれに見合った会議の在り方が求められているのです。

職場の長や上司の顔色をうかがって、上司の言おうとしているところに結論を落とそうと気を使っている古い体質の会議をやっているような組織はもはや生き残れません。

そしてこれからの会議では発想のイノベーションを起こすための仕掛けが必要なのです。



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年7月号》

その仕掛けこそがこの「ナレッジファシリテーション」という新しい会議術です。

自由闊達にアイデアを出し合い、異なる意見をぶつけ合い、今まで考えも及ばなかった行動につなげてゆく・・・そんな会議を行うのです。

厳しい競争社会の中で、企業や組織を成功に導くためにはスピード感のある効率性の高い会議をやることです。しかも何を言っても許される「安全な場」の確保がなされていなければなりません。

会議のやり方とその体質が変われば会社は間違いなく変わります。会社が変わる、すなわち「風土改革」や「働き方改革」ができるのです。



以上3つの本を一気に発売します、【21世紀型】会議ファシリテーション教本は既に発売済です。

MAZON 高野文夫の本・・・とGoogleに入れて頂ければ、1-2日でご自宅の郵便受けに届けられます。

## 第二章

ナレッジファシリテーションを身に着けるとどうなるか？

この本で『各人が思いの丈をぶつけられる場と空気』の作り方を学びます。そして会議やチームの名指揮者を作ります。

すなわち、会議進行やプロジェクト・ワーキンググループ、部門間連携でベストのコミュニケーターになるためのスキルを身に着けられます。



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年7月号》

今や多様な時代です。「黙って俺について来い！」型の古いスタイルのリーダーシップだけでは人は動きません。今こそ「ファシリテーター型リーダーの時代」だと言われています。

各人の相違を認めた上で、迅速に合意を形成し、皆の「納得感」の基に課題解決に向かわせるのがファシリテーターの役目です。そしてその手法が「ナレッジファシリテーション」です。

おわり

次は2019年7月15日号になります。